

# 上品な雰囲気の八重咲きセンパーフローレンス。

< 植物名 >

ベゴニア  
センパーフローレンス  
八重

水やり

土の表面が乾いたら水やりをする。冬は乾かし気味に。

置き場所

日光を好むが夏は直射日光を避け、風通しの良い半日陰で育てる。

用土肥料

開花中は、リン酸分が多めの肥料を与える。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

種まき 挿し木

冬越し

室内の明るい場所で育てる。

使い方 花壇、鉢植え、寄せ植え、ハンギングバスケット

学名 Begonia semperflorens

英名

属名 シュウカイドウ

科名 シュウカイドウ

性状 (分類)

原産地 ブラジルほか

花の色 白、ピンク、赤など

開花期 3月～10月

購入時期

草丈 20～40 cm

ID 944

季節 春 夏 秋

JFコード 42074



冬越しと置き場所

日向を好むが、できれば夏の直射日光は避けるようにする。非耐寒性なので冬は5～10℃以上必要。室内で育てる。

その他の解説

開花中はリン酸分が多めの肥料を与えると、花付きがよくなり長期間楽しめる。花が終わったら切り戻して、次に花を付ける新芽を伸ばしてあげる。挿し木は容易だが、上の方の枝ではなく、株元のわき芽のある枝を使用する。

特徴1

土の表面が乾いたら水やりをする。但し、冬場は乾かし気味に管理。水の与えすぎは根を傷めるので要注意。

特徴2

ベゴニア属は約2000種あると言われ、膨大な数の園芸品種があり、茎や根の形態によって木立性、根茎性、球根性の3タイプに分けられる。その中でもベゴニアセンパーフローレンスは非常に性質が強く、大変育て易いベゴニア。鉢植え、ハンギング、寄せ植えなどに向いている。非耐寒性。八重咲きの品種は上品な雰囲気。